

宮城県感染症情報

— 感染性胃腸炎に注意しましょう —

令和5年10月12日
宮城県疾病・感染症対策課

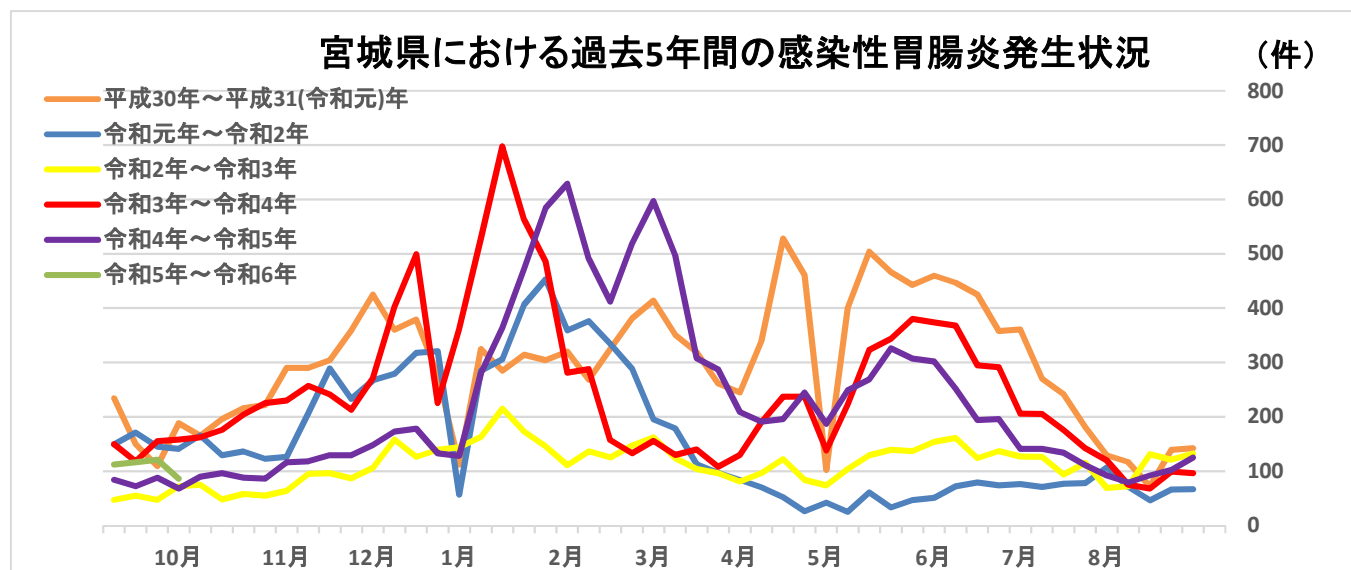
1 感染性胃腸炎とは

原因 ノロウイルス、ロタウイルス、サポウイルス、アデノウイルス等

流行期 冬期の発生が多いとされていますが、一年中発生します。
11月頃から増加します。

症状 吐き気、嘔吐、下痢、腹痛。子どもや高齢者などが感染すると重症化することがあります。

感染経路 経口感染(汚染された食品を食べる、感染した人の嘔吐物や便などに触れた手を介して感染します)
飛沫感染(吐物などで生じたウイルスを含む飛沫を吸い込んで発症します)



2 予防のポイント

① 手をよく洗う

トイレの後、食事の前、調理の前などに、石けんと流水で手をよく洗う。

② 食品の取扱い方法

食品は十分に洗い、中心までよく加熱する。(中心部が85℃～90℃で90秒以上)

③ 調理器具の取扱い方法

調理器具(まな板・包丁・ふきんなど)はその都度洗剤で洗い、熱湯等で十分消毒する。

3 症状が出た場合

① 下痢などの症状がある場合

できるだけ浴槽に入らず、掛け湯かシャワーで済ませましょう。

また、バスタオルや手ふきタオルは共有せず、個別のものを準備しましょう。

② 感染している人の吐物や便の処理について

使い捨てのマスクや手袋を着用の上、飛び散らないように処理し、**次亜塩素酸ナトリウム(塩素系消毒剤)**で消毒しましょう。

※アルコール系消毒剤では、十分な効果は期待できません。

【参考となるホームページ】

・厚生労働省「ノロウイルスに関するQ&A」:<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>